

ネットワークボード

今回の熊本地震、そして各地の豪雨被害で亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被害に遭われた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。編集部では、特に障がいのある人たちの被災及び支援の状況について、関心を持って見守っています。障がいのある人たちは、日常と違う状況におかれる不安もさることながら、避難生活についても解決すべき課題を多く抱えています。大阪市東淀川区にある、「ゆめ風基金」は、阪神淡路大震災をきっかけに誕生した NPO 法人で、今回も 8 月 17 日に熊本で立ち上がった熊本地震被災地障害者センターへの寄付金を集めています。また、きょうされんでも災害支援基金への協力を呼び掛けています。

(編集部)

令和 8 年熊本地震被災地障害者センター

〒866-0802

熊本県八代市妙見町 2 3 7 7-3

とら太の会 気付け

電話：070-5475-1100

E-mail hisai2026sos@gmail.com

★被災地障害者センターへの寄付に関する情報
 ≪ゆめ風基金≫

<https://yumekazek.com/>



★きょうされん災害支援基金

●郵便振替●

<口座名義> きょうされん自然災害支援基金口

<口座番号> 00100-7-86225

<https://www.kyosaren.or.jp/disaster/9713/>



編集後記



7 月に最大震度 7 を観測した地震が、熊本県で発生しました。国内で震度 7 を観測したのは、2024 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震以来でした。

実は、私も過去に大きな地震の経験があります。最大震度 6.6 の揺れでした。当時、商業施設の 5 階にある、フィットネスクラブに勤務していました。地震発生時は事務所の中で仕事をしていました。突然の揺れで、慌てて机の下に潜り込みました。揺れている最中は、何も見られず動けずでしたが、棚が落ちる音、ガラスが割れる音、物が落ちてくる音などがあちこちから聞こえてきました。揺れが収まり辺りを見渡すと、今までとは全く違う光景になっていました。直ぐにお客様を避難誘導し、最後のお客様と一緒に私たちも避難しました。今振り返ると、職場や商業施設で避難訓練を行なったことはありませんでした。ですが、学生時代に何度も行なった避難訓練が自然に身に着いていたのだと思います。この時に、職員全員が落ち着いた行動をとることが出来ました。最近、ばれっとでも避難訓練を行ないました。慌てて直ぐに飛び出そうとしたり、どうしていいかわからず立ちつくしていたり、まだまだ安全に避難とはいきません。今後も定期的に行なっていきたいです。江東区有明に、防災体験学習が出来る『そなエリア東京』という施設があります。東京直下 72h ツアーという体験型ツアーもあります。入館は無料ですので、ご興味のある方はぜひ行ってみてください。

(やまもと)